第18回「東西文化の融合」国際シンポジウム　　日本文化を発信する・地域連携、高大連携

倭文（しづり）と東国の静御前伝承
―傀儡子（くぐつ）と羽衣伝説、白鳥伝説、オシラサマ―

来聴歓迎、聴講無料。映像の上映は会場のみです。
映像の配信は行いませんので、ぜひご来場ください。

日時：２０２６年１１月7日（土）9:30-17:00
会場：大東文化会館（東武東上線「東武練馬」駅下車2分）
ハイブリッド開催　Zoom https://zoom.us/j/98156120201
ミーティング ID: 981 5612 0201　パスコード: 950365

◆午前の部(ホール・K403)

9:30 開会の辞　大東文化大学学長　髙橋 進
9:40-10:00 **日本語学科学生による「日本文化特別演習」成果発表**
■朗読劇 宮澤賢治『雪渡り』　（指導）菅野友巳・藏中しのぶ
日本語学科1年：加藤楓奈・石関星愛・牛山匠・平井みさき
椎名翔大・白井颯・猪木陽斗・佐藤姫花瑠
ジガンテ･ジュリアーナ･ディレッタ（イタリア）、タン･ピュシン（ミャンマー）
10:05-10:20 **日本語学科教員の研究活動と地域連携・高大連携**
映像で「どぅなんむぬい（与那国語）」の記憶を残す　日本語学科特任准教授　藤田ラウンド幸世
■研究発表（ホール）司会・本学教授　須田義治
10:30-11:00 琉球諸語の手法指示語の歴史的成立　日本語学科助教・語学教育研究所研究員　サルバトーレ・カルリノ
11:05-11:35 LINEにおけるほめの談話的特徴
―友人間で行われるトークに着目して―　日本言語文化学専攻博士課程前期課程2年　遠藤花菜
11:40-12:10 日本語の終助詞「ね」と中国語の語気助詞の対応関係について
日本言語文化学専攻博士課程後期課程1年　沈　燕
■研究発表（K403）司会・本学教授　上村圭介
10:30-11:00 日本語学習者向け漢字教材の類型化
日本言語文化学専攻博士課程後期課程3年　サイヤリン・プッタソーン
11:05-11:35 学部留学生を対象にしたディクトグロスの実践と課題
―節認定単位を用いた作文分析からの示唆―　日本言語文化学専攻博士課程前期課程2年　中村征嗣
11:40-12:10 即興描写タスクにおけるイントネーション
―トランス女性1名によるケーススタディ―　日本言語文化学専攻博士課程後期課程3年　濱岡佑帆

◆午後の部（ホール）　国際シンポジウム「倭文と東国の静御前伝承―傀儡子と羽衣伝説、白鳥伝説―」

13:00-13:20 **倭文と静御前伝承を追って**　コーディネーター・司会 日本言語文化学専攻主任 藏中しのぶ
■大和高田の白拍子舞　（指導）日本語学科非常勤講師　花柳楽彩
「口上」白拍子錦、「あそびをせんとや」白拍子雅、「しずやしず」白拍子雅、「よしのやま」白拍子錦
13:20-13:50 **東国の静御前伝承、白鳥伝説―地元・茨城県古河の伝承から―　本学日本語学科教授 飯塚秀樹**
13:50-14:50 **定住から遊行へ―1970年代の記録映画から見る津軽と遠野のオシラサマ考―**
映画監督・映像民俗学・人類学 北村皆雄
■ドキュメンタリー映画「津軽じょんがら女考・オシラサマ」「遠野物語幻想」（50分）
14:50-15:05 休憩
15:05-16:05 **傀儡子の伝承・天翔る衣（あまかける ころも）となったヤマトタケル―羽衣（はごろも）伝説とタケハヅチ、羽衣、天衣（あまぎぬ）―**
神戸女子大学名誉教授　鈴鹿千代乃
■筑紫舞（傀儡子舞）「羽衣―天衣（あまぎぬ）降臨の舞―」（15分）　神事芸能研究会　金井由美子
16:15-16:55 **パネル・ディスカッション**
司会・藏中しのぶ／パネリスト　飯塚秀樹・北村皆雄・鈴鹿千代乃・花柳楽彩
アプサラ―インド神話・芸術・文化における天上の女性像―
インド ヴィスヴァ･バーラティ大学助教・語学教育研究所客員研究員 アルピタ・ポール
地中海の伝統における衣服の役割―ギリシア・ローマ神話、キリスト教を中心に―
イタリア ナポリ東洋大学アジア学部准教授・本専攻修了（博士・日本言語文化学）アントニオ・マニエーリ
台湾政治大学の「倭文」研究、大学院の共同指導に向けて
台湾・台湾政治大学外國語文學院院長・日本語文學系教授　鄭家瑜
17:00 閉会の辞　日本語学科主任　田崎敦子

主催：大東文化大学大学院外国語学研究科日本言語文化学専攻
共催：大東文化大学外国語学部日本語学科・外国語学会日本語部会
語学教育研究所･東洋研究所･国際交流センター･地域連携センター･入学センター
後援：国際交流基金・大和高田市文化振興課・古河市教育委員会

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

お問い合わせ：大東文化大学外国語学部事務室　gaikokugo@jm.daito.ac.jp　03-5399-7321